

2015年11月20日

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

会長 中谷 修

機械保全技能検定試験における実施誤りと再発防止対策案について

このたび、平成 27 年度機械保全職種 3 級 機械系保全作業の実技試験において、下記の 2 つの実施運営上の誤りが発生いたしました。

受検者の方をはじめ関係各位に多大なるご迷惑をおかけしたことを深くお詫びいたしますとともに、本事案ならびに類する事案を今後発生させないように、従来の方策に加えて以下の対策を行ってまいります。

1. 発生した事案の概要

事案 1)

ある 1 会場において、1 名の受検者に対して、全 7 問中 1 題分の試験用資料が回ってこないまま試験が実施され、そのまま採点し、合否判定を行った。

なお、事案判明後、当該受検者に対して 1 題分の再試験を行った。

事案 2)

ある 1 会場において、一部の受検者に対して、本来使用すべき解答用紙（マークシート）とは異なる解答用紙が誤って配布され、そのまま試験で使用され、気が付かずに採点処理・合否判定がなされた。

なお、事案判明後、当該受検者について再度採点処理を行い、正しく合否判定を行った。

2. 再発防止策

今回の標記事案発生の原因は、資料や解答用紙の配布方法が、複雑でミスを招きやすいものであったこと、また、これらの実施誤りが生じないようにする仕組みが不十分であったことにあります。

今後、実施誤りを発生させないよう、従来の方策に加えて以下の対策を行い、万全を期してまいります。

(1) 試験会場での解答用紙等の誤配布防止対策

下記のような対策を行い、試験会場で確認がしやすくし、かつ、誤配布等の誤りが発生しないようにする。

- ① 全問題の資料・資材を最初に全員に配布する方式とする。
- ② 使用する資料・資材の番号を問題文に明記することや、問題によって資料の色を変える等の「可視化」を強化し、配布作業での確認をし易くする。
- ③ 検定委員および運営スタッフによる確認を徹底し、検定委員と運営スタッフが相互に、試験問題や資料が確実に配布されているかを確認する。

さらに、検定委員や運営スタッフの事前教育において、確認方法の事前教育を行う。

- ④ 可視化を強化することで、受検者自身でも資料・資材、適切な解答用紙が手元にあることが確認できるようにする。

また、試験会場では、受検者に対して、資料・資材が手元にあることを確認のうえ、必要な資料・資材・解答用紙が無い場合には申し出るよう、アナウンスも行う。

(2) 試験本部における試験業務の適正かつ確実な実施について

- ① 試験当日における試験会場と試験本部との連絡体制を強化する。
- ② 試験の運営スタッフに対し、連絡会議等においてマニュアルの教育を徹底する。

以 上